

エアクル新事業、沖縄県の「経営革新計画」に承認

～運転請負によるドライバー提供プラットフォーム「エアクルワン」～

運転代行配車プラットフォーム「AIRCLE（以下、エアクル）」を展開する株式会社 Alpaca.Lab（所在地：沖縄県中城村、代表取締役：棚原 生磨、以下アルパカラボ）は、「**経営革新支援制度**」において、**アルパカラボの経営革新計画が沖縄県の承認を受けたこと**をお知らせします。

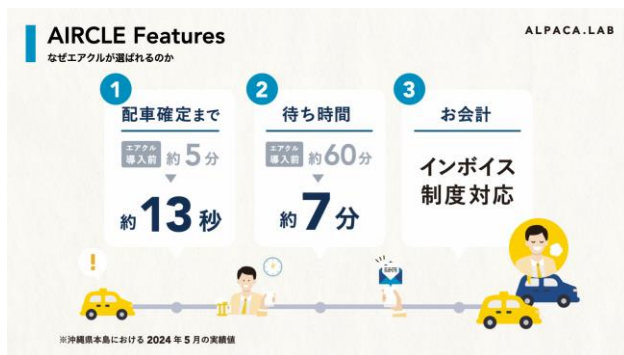


運転代行業界における課題

運転代行は、飲酒後の安全な帰宅手段として需要が高く、特に地方都市を中心に利用されています。しかし、現行のサービスは電話や無線による非効率な配車が主流で、長い待ち時間が利用者とドライバーの負担となり、慢性的なドライバー不足を招く要因の一つとなっていました。

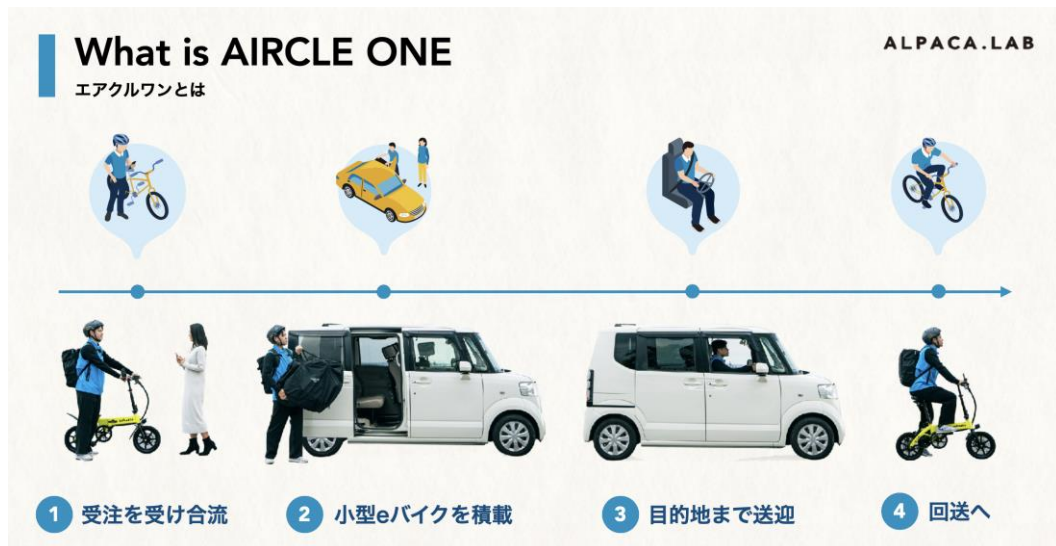
エアクルの成果

弊社はこれらの市場課題を解決するため、運転代行配車プラットフォーム「エアクル」を開発・運営し、沖縄県を起点に全国 8 エリアで展開しています。これまでに利用者は 17 万ダウンロード、350 業者以上が登録されており、累計注文数は 40 万件を突破しました。効率的なアルゴリズムによる最適な配車により、配車確定まで平均 30 秒、平均到着時間は 7 分となり、従来と比較すると約 80%以上の時間短縮に成功し、いままでにない配車体験と業務改善を実現してきました。



エアクルワンが目指す、ドライバー不足の解消

さらに、2024年に開始した新事業のドライバー提供プラットフォーム「エアクルワン」では、普通自動車第一種運転免許保持のドライバー1名のみで代行運転サービスの提供を可能とする「運転請負業」によって、運転代行事業者が不足する地域に一般企業が参入できるようになり、ドライバー不足の解消に貢献しています。



今回の承認を機に、運転代行市場が抱える人手不足の解決やコスト削減を通じた市場の健全化をより一層推進します。第一種運転免許ドライバーすべてが移動の主体となれる仕組みを提供し続けることで、各市場におけるドライバー不足を解消し、地域社会への貢献を強化します。

会社概要

会社名：株式会社 Alpaca.Lab

設立：2018年8月27日

代表者：代表取締役 棚原 生磨

所在地：沖縄県中頭郡中城村南上原 1111-1

事業内容：運転代行配車プラットフォーム「エアクル」、ドライバー提供プラットフォーム「エアクルワン」の開発・運営

URL：<https://alpacalab.jp/>

【本リリースに関するお問い合わせ】 担当：山岡 / Email：pr@alpacalab.jp